



炬火を掲げていざ謳う

No.11



我らの泉鳥取

2022年8月3日(水)

編集・発行 泉鳥取高校 教頭(妻木)

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

泉鳥取歴史散歩(1)

謎の鳥居

JR和泉鳥取駅の裏に、大きな石造り鳥居が建っています。この鳥居は何物か？泉鳥取高校関係者なら一度は不思議に思ったことでしょう。

この鳥居は、山中溪から雄ノ山峠を越える紀州街道に沿って建てられています。種を明かせば、波太神社に対する遥拝鳥居なのです。雄ノ山峠越えは、古く平安の昔から、熊野詣での道でした。熊野権現の分身を祀った九十九王子社のうち山中溪には馬目王子と地藏堂王子がありました(現在は残っていない)。この道から古い由緒のある波太神社を拝するために作られたものです。波太神社は延長5(927)年に撰上された『延喜式』にも名前が記載されており、戦国時代には、信長の紀州攻めの本陣が置かれた、古くて由緒正しい神社なのです。

その後、近世に入ってから、紀州徳川家が参勤交代で利用する紀州街道となり、紀州の殿様もここから波太神社を拝しました。8代将軍となる徳川吉宗(当時は頼方)も、14代将軍となる徳川家茂(慶福)もここより遥拝したのです。(ちなみに和泉砂川駅近くの大鳥居は金熊寺近くにある信達神社のお旅所です)



波太神社。拝殿は明治時代のもの。

本殿は寛永15(1633)年に造営された三間社流造。

和泉鳥取駅裏の遥拝鳥居

波多神社拝殿前

豊臣秀頼寄進と伝わる石灯籠

